

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(3/8)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
未来創造「新・ものづくり」特区 (浜松市)	3.6	4.0 進捗度 ・産地力の強化 229% ・企業立地による地域産業の振興及び雇用の拡大 110%	3.4 規制の特例等 ・市街化調整区域への企業立地に係る農振法・農地法のガイドラインの弾力的運用 地域独自の取組 ・市独自の企業立地促進支援事業 ・耕作放棄地再生事業 ・企業立地推奨費 等	3.5	<p>・企業の農業参入が進み、農畜産物販売金額も目標をほぼ達成しており、高く評価することができる。今後の計画実現に期待したい。</p> <p>・企業の新規立地件数は、進捗度が70%に留まっているのに対し、新規立地した事業所の売上高は、目標を大きく上回り、新規雇用数は概ね半分の進捗率である。これら3つの指標の進捗率にズレが発生していることに対し、分析が必要であろう。</p> <p>・企業の新規立地については、なぜ雇用効果がこれほど小さいのか。人手不足を不振の原因として掲げているが、目標値が現実を踏まえたものであったか、今一度検討してみる必要がある。</p> <p>・農業に参入した企業と直接関連する評価項目は耕作放棄地の農地への復旧面積の増加だけだが、農畜産物販売金額とのリンケージも拾うことができるようにしてほしい。参入した企業の状況をいくつか紹介するなど定性的なかたちでの評価でよいと考える。また、農業に参入した企業が周囲の農家を巻き込んで新しい事業を行っている可能性も考えられるので、そのあたりの情報を丁寧に集めて、企業の農業参入の意義をもっとアピールできるような評価にしていただければと思う。</p>